

第8章の補遺1 実数の立方根

複素数 a に対して、 $x^3 = a$ となる複素数 x を a の3乗根または立方根といいます。

実数 a について、 $(\sqrt[3]{a})^3 = a$ なので $\sqrt[3]{a}$ は a の立方根です。 a の立方根を総て求めてみます。 複素数 x は実数 a の立方根であるとし、 $x^3 = a$ なので $x^3 - a = 0$ 。 $\sqrt[3]{a^3} = a$ なので、 $x^3 - \sqrt[3]{a^3} = 0$ 。 この等式の左辺を因数分解すると $x^3 - \sqrt[3]{a^3} = (x - \sqrt[3]{a})(x^2 + \sqrt[3]{a}x + \sqrt[3]{a^2})$ なので、

$$\begin{aligned}(x - \sqrt[3]{a})(x^2 + \sqrt[3]{a}x + \sqrt[3]{a^2}) &= 0, \\ x - \sqrt[3]{a} &= 0 \text{ または } x^2 + \sqrt[3]{a}x + \sqrt[3]{a^2} = 0.\end{aligned}$$

2次方程式 $x^2 + \sqrt[3]{a}x + \sqrt[3]{a^2} = 0$ を解くと

$$\begin{aligned}x &= \frac{-\sqrt[3]{a} \pm \sqrt{(\sqrt[3]{a})^2 - 4\sqrt[3]{a^2}}}{2} = \frac{-\sqrt[3]{a} \pm \sqrt{-3\sqrt[3]{a^2}}}{2} = \frac{-\sqrt[3]{a} \pm \sqrt[3]{a}\sqrt{3}i}{2} \\ &= \sqrt[3]{a} \frac{-1 \pm \sqrt{3}i}{2}.\end{aligned}$$

よって、方程式 $x^3 = a$ を解くと $x = \sqrt[3]{a}$ または $x = \sqrt[3]{a} \frac{-1 \pm \sqrt{3}i}{2}$ 。 故に、実数

a の立方根は、 $\sqrt[3]{a}$ と $\sqrt[3]{a} \frac{-1 + \sqrt{3}i}{2}$ と $\sqrt[3]{a} \frac{-1 - \sqrt{3}i}{2}$ との3つです。